

第 2 回学校評議員会 会議録

開催日時	令和 7 年（2025 年）3 月 10 日（月） 1 7 時 3 0 分～1 8 時 4 5 分	
会 場	北海道厚岸翔洋高等学校 校長室	
出席者数	学校評議員 2 名	学校 3 名
出席者名 (五十音順)	岩 崎 純 史（厚岸町商工会） 福 原 通 雄（本厚岸郵便局）	校 長 山 本 十 三 教 頭 長谷川 智 人 事務長 土 池 健 吾
校長が意見を求めた事項		学校評議員の意見・質問
下記の資料をもとに、令和 6 年度の教育目標及び計画、教育活動の実施、学校と地域との連携の進め方などについて説明し、本校の学校運営に関する意見等を求めた。 <資料> 1 生徒の状況 2 教育活動 3 進路の状況 4 学校評価 5 マイスター・ハイスクール事業		○学校評価について ・学校評価アンケートの教職員の回答で「生徒は、厚岸翔洋高等学校の学校生活に満足していると思う」という項目が昨年度より下がっているのは、教員が生徒との対話の中でそのような印象を受けているということか。 →学習面というより、携帯電話を預かる等の生徒指導を生徒が厳しいと感じ、不満を持っているのかも知れない。このような指導を地域の方がどう感じているか聞いてみたい。 ・厳しいというより、規律がしっかりしていると感じる。規律を身につけて社会に出て行く人材を輩出してほしい。 ・教職員の回答が 100%ばかりであればかえって不自然だと感じるが、そうではないのはむしろ良いことだと思う。 ○進路の状況について ・早いうちに全員が進学や就職先が決まっているのは良いアピールポイントであると思う。 →大学合格だけでなく特待生としても合格する等、教員が熱心に学習指導を行っている効果が出ている。 ○生徒募集について ・校長や教頭が地区の学校運営協議会に参加していると思うが、その中で学校の状況を伝えることはあるか。 →学校運営協議会の中ではそのような機会は無いが、町の校長会や教頭会では伝えている。 ・管理職に伝わっても、末端の教員にまでは伝わっていないかも知れない。そこまで伝わるような P R をしては。 →釧路から通学している生徒は、落ち着いた学校という理由で本校を選択していることもあり、そのような良

	さを町内の保護者にどう伝えていくかが課題。中学校の先生にも過去の価値観にとらわれない進路指導をしてほしいと考えている。 今回の出願も海洋資源科に偏っており、町の補助も寮生など海洋資源科に偏っているため、今後は普通科の良さもPRしたいと考えている。
上記のとおり会議を開催した。 令和7年（2025年）3月10日 北海道厚岸翔洋高等学校長 山 本 十 三	

※ 別の書式により意見聴取の内容を整理している場合は、それを添付して保管すること。

※ 配布資料等を添付し保管すること。